

議事録

1. 件名：「令和 2 年度静的機器等の衝撃応答試験に係る知見の調査・検討」に係る打合せ(第 2 回)
2. 日時： 令和 3 年 2 月 24 日(水) 13:15～14:15
3. 場所： 原子力規制庁 会議室(web 会議)
4. 出席者： 原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
日比野統括技術研究調査官、高松技術計画専門職、石田技術計画専門職
田岡主任技術研究調査官、東技術研究調査官、藤原技術研究調査官

日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社
原子力生産本部 原子力計画部 耐震計画グループ リードエンジニア
主任技師、技師
5. 要旨：
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、令和 2 年度から東京電機大学との共同研究「機器配管系の耐衝撃性及び耐震性に係る研究」を実施している。本共同研究の実施項目の一つとして、衝撃力に対する設備の耐衝撃性を把握するため研究を実施している。当部門では、本共同研究の一環として日立 GE ニュークリア・エナジーと請負契約を締結し「令和 2 年度静的機器等の衝撃応答試験に係る知見の調査・検討」事業を実施している。
当事業では(1)静的機器等の衝撃応答に係る知見の調査、(2)試験計画の検討を行う。
今回は、当事業に係る第 2 回打合せを実施した。
日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社から試験体の設計方針及び検討結果に関する説明を受け、試験体の設計において着目する損傷モード、試験体の相似則の考え方及び今後の予定について討議した。
6. その他
特になし